

162-0042 東京都新宿区早稲田町 12-3
Tel 03-3203-4581, Fax 03-3203-4582,
郵便振替口座：00130-1-11325, みずほ銀行早稲田支店普通預金 1150684

JP-162-0042 Tokyo-to Sinzyuku-ku Waseda-mati 12-3
rete: esperanto@jei.or.jp TTT: [http:// www.jei.or.jp](http://www.jei.or.jp)
uea-konto:jeia-b

広報委員会 2018-06-25

シリーズ「エスペラントの今」 第14号

エスペラントの現状を様々な面からご紹介するシリーズの第14回目をお届けいたします。ご質問、取材問い合わせ等は、当協会広報委員会までお願いします。(なお、当協会は7月28日から8月6日は休館です)

■今年の世界エスペラント大会はポルトガルのリスボンで開催

7月27日から8月4日、第103回世界エスペラント大会が開かれます。

●通訳のいらぬ国際的イベント - 共通語はエスペラント語

エスペラント語を共通言語として開催される大小さまざまな催しは、年間を通して世界各地で行われていて、エスペラント語の使用者同士の出会いの場となっています。この通訳のいらぬ国際会議、国際イベントの中で最大のものが、世界エスペラント協会主催の「世界エスペラント大会」です。

この大会の特徴は「誰でも自由に参加できる幅広い市民交流の場」だということです。そこでは通りいっぺんの挨拶や社交辞令を

超えた、深い人格的な語りや熱い議論も時に繰り上げられます。誰の母語でもないエスペラント語による交流は、さまざまな国際会議を経験している人たちでさえ、他の言語では味わえない解放感と自由さが魅力だと言います。エスペラント語による交流がコトバの壁を押し下げているのかもしれない。



●子どもから大人まで楽しめるプログラムがいっぱいの1週間

北半球では夏、南半球では冬に当たる例年7月から8月にかけて地球上のどこかの都市が1週間だけ「エスペラント国」となります。普段世界各地に暮らしているエスペラント語の使用者たちが、エスペラント界最大の文化の祭典に集まってくるからです。その数は約2,000人。5,946人を記録したこともあります。毎回約70か国からの参加があります。日本からも毎年100人前後の参加があります。

大会テーマに沿った講演会や討議、研究発表、コンサート・演劇・舞踊などのパフォーマンスや、夜中まで続くダンスパーティ、地元チームとのサッカー大会、観光、初心者向け講座など硬軟両様のさまざまなプログラムを通して参加者たちは交流を深めます。医学者、科学者、環境保護等の専門家会議や、平和運動家、キリスト教者、仏教者、視覚障害者の会合などもあります。また開催地の言語や文化を学ぶコースも用意されています。エスペラントによる創作力を競う文芸コンクールなどもあります。エスペラント原作文学や世界各国の書籍のエスペラント翻訳、エスペラント音楽CDを手にもすることもできます。親たちと一緒に来た子どもたちには、「国際子ども大会」が併設され、遊びやゲーム、創作を通じた国際交流プログラムが用意されています。

●世界エスペラント大会の歴史は

1905年に始まった世界エスペラント大会は、2度にわたる世界大戦前後の数年を除いて毎年行われ、2015年にはフランスで第100回の歴史を刻みました。昨年は韓国で第102回が開催されましたが、南北の統一をテーマに各国の参加希望者たちが国会に出向き、韓国の国会議員と意見交換をするという特別プログラムも行われ(エスペラントと韓国語の2言語で)、韓国のマスメディアの注目を集めました。

今年の第103回は、「多文化、多言語、グローバル化：今どこに向かっているのか」が、大会テーマです。